

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目	音楽Ⅳ	■講師名	前田 有輝
2 年 前 期	15 コマ (1コマ90分授業)	総時間	30 時間 演習 1 単位
■学修概要			
毎週、又は隔週に与えられた課題曲を集団でレッスンした後、ピアノ室にて個人レッスンをを行う。与えられた課題曲は、子供達とより楽しめるような伴奏を研究・作成していく。歌の指導時やリトミック時のピアノ伴奏法を習得するためのグループレッスンも行う。			
■授業目的、到達目標			
音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで習得した知識と技術を生かし、実践できるよう演奏技術の向上を目指す。実習先での課題曲等、レパートリーの拡大を目指す。音楽遊びのオリジナルソングの作成に取り組む。			
■授業方法			
集団レッスン、個人レッスン			
■教科書（書籍名・出版社）			
改訂 幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育：教育芸術社 プリント			
■成績評価・講義上の注意			
授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。			
■実務経験			
2014年に自身初となるソロリサイタルを開催する。その後多数のオペラや合唱曲、幼児向けコンサートへの出演や動画作成も行う。これまでに個人レッスン・混声合唱団そよ風・横浜創英中学高等学校・日本大学高等学校中学校にて指導者・講師としても活動。「生徒による授業評価アンケート」にて連続で非常に高い評価を受ける。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	オリエンテーション、音楽Ⅲで習得したレパートリー曲の復習		
2	童謡曲、和音の練習、スリーコード伴奏、アンサンブル		
3	課題曲合同レッスン、個人レッスン		
4	個人レッスン、プチテスト		
5	課題曲合同レッスン、個人レッスン		
6	個人レッスン、アンサンブル		
7	課題曲合同レッスン、個人レッスン		
8	個人レッスン、プチテスト		
9	課題曲合同レッスン、個人レッスン、弾き歌い		
10	個人レッスン、弾き歌い		
11	個人レッスン、試験曲決定		
12	弾き歌いプチテスト、個人レッスン		
13	個人レッスン		
14	個人レッスン・発表		
15	試験		

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 子どもの健康と安全	■講師名 高橋 良子
2 年 15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間 講義 1 単位
■学修概要 集団保育において保育者に求められる子どもの怪我や疾病、感染症等への適切な対応や事故防止、安全管理について習得する。また、ロールプレイ・グループワークを通して養護技術等の現場に即した実践力を身につける。	
1. 保健的観点に基づく保育の環境整備や健康・安全管理の実施体制など、これで得た保健知識を応用できる。 2. 現場で起こり得る具体的な事例を通して実践できる。 3. 発表や、グループワークに参加、討議でき、多様な理解の幅をひろげていくことができる	
■授業方法 演習（講義、実技、グループワーク）	
■教科書（書籍名・出版社） これだけはおさえない！保育者のための子どもの健康と安全	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 看護師の臨床経験と保育施設での経験を踏まえて乳児の発育支援を科学的根拠に基づいて保育のプロとしての支援になるよう努力していく。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	◆オリエンテーション（授業内容と評価方法の確認）
2	子どもの養護の仕方
3	保育における健康と安全管理・衛生管理・施設内外の衛生管理（表2-1・表2-3）
4	事故防止と安全管理・保育中の事故防止の取り組み・睡眠中、水遊び、食事中、誤嚥、誤飲
5	危機管理・防災訓練、防犯訓練、引き渡し訓練、災害への備え・備蓄品
6	子どもの体調不良などへの対応・発熱・下痢・嘔吐・咳・発疹・腹痛・こんな時どうする？P65
7	子どもの体調不良などへの対応・痙攣・脱水・頭痛・鼻汁、鼻閉・熱中症・子どもの薬
8	応急手当・記録表・主なケガの対応・ぶつけた・打った・骨折・捻挫・脱臼・噛まれた・他
9	一次救命処置・図3-22
10	子どもの掛かりやすい感染症対策・集団発生の予防・手洗い、うがい、予防接種
11	保育者が知っておきたい感染症・感染症発生時と罹患後の対応
12	保育における保健的対応の基本的な考え方・バイタルサイン測定・視力・聴力測定 ・健康診断・個別配慮が必要な子ども・障害のある子どもへの対応
13	健康及び安全管理の実践・連携・保健計画
14	過程・専門機関・地域の関連機関との連携・これからの子どもの健康と安全
15	定期試験

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 子ども理解と援助	■講師名 平野 節子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業） 総時間 30 時間 講義 1 単位
■学修概要 乳幼児の発達についての知識を基に、具体的に発達に沿った支援の方法について学ぶ。同時に、各人の経験や知識を学友と共有し、議論し、演繹的に活用できるようにする。	
■授業目的、到達目標 子どもの成長発達の特徴を理解し、具体的事例を通して、保育者の援助方法、働きかけについて考え、基本的対応知識を身につけることができる。	
■授業方法 講義・演習	
■教科書（書籍名・出版社） 『福祉教科書 保育士 完全合格テキスト2025年版 上・下』翔泳社	
■成績評価・講義上の注意 授業中の態度、課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。	
■実務経験 小学校教員として約20年教育に携わり、乳幼児の保護者、保育者からの育児相談や障害児・病児について教育相談、地域子育て支援活動を行ってきた経験を活かして、保育士として必要な子どもを取り巻く社会的問題や対応についての理解を深める授業を行う。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	オリエンテーション
2	子どもの発達への援助
3	育児相談と援助理論
4	援助の方法と技術
5	援助方法のマナーとテクニック
6	0歳児の理解と保護者への援助
7	1歳児の理解と保護者への援助
8	2歳児の理解と保護者への援助
9	3歳児の理解と保護者への援助
10	4歳児の理解と保護者への援助
11	5歳児の理解と保護者への援助
12	外国人の乳幼児の理解と保護者への援助
13	障害児、障害者の理解と保護者への援助
14	保育士同士の連携と環境づくり
15	定期試験

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目	子ども家庭支援論	■講師名	青田 晶子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間	講義 2 単位
■学修概要 子どもや家庭を取り巻く社会状況を知り、家庭を連携していくために必要な手立てについて学ぶ。			
■授業目的、到達目標 ○子どもや家庭を取り巻く多様な状況を学び、その支援について考え理解する。 ○保護者と豊かに連携していく保育のあり方を考え理解する。			
■授業方法 講義と演習			
■教科書（書籍名・出版社） 『保育の学びを深める 子育て支援の実際』大学図書出版			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 講師は東京の公立幼稚園、大阪の市立保育園、市立幼保連携型認定こども園で25年勤務した実践経験と、現代求められている保育について結び付けながら講義する。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	オリエンテーション、家庭支援とは		
2	家庭を取り巻く社会の状況を知る①		
3	家庭を取り巻く社会の状況を知る②		
4	保育所における子育て支援①		
5	保育所における子育て支援② 相談援助		
6	基本的な生活習慣 食事・睡眠		
7	基本的な生活習慣 排泄・着脱		
8	保護者と園をつなぐ園だより、連絡ノート		
9	保護者と子どもをつなぐ行事		
10	発達が気になる子の家庭支援		
11	虐待への対応		
12	多様な家庭への支援		
13	地域の子育て支援		
14	現代の課題とまとめ		
15	定期テスト		

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 子ども家庭福祉	■講師名 平野 節子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業） 総時間 30 時間 講義 2 単位
■学修概要 子どもと家族を取り巻く問題とそれに対応する制度や実践について学ぶ。	
■授業目的、到達目標 1, 子どもと家族の問題を歴史的背景と社会的背景を踏まえて理解する。 2, 児童福祉制度の内容と共に担当機関についてわかる。 3, 子どもの権利と社会的養護について理解と考察を深める。	
■授業方法 講義・演習	
■教科書（書籍名・出版社） 『福祉教科書 保育士 完全合格テキスト2025年版 上・下』翔泳社	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。	
■実務経験 小学校教員として幼保連携に約20年携わり、乳幼児の保護者、保育者からの相談や障害児・病児について教育相談、地域子育て支援活動を行ってきた経験を活かして、保育士として必要な子どもを取り巻く社会的問題や対応、背景についての理解を深める授業を行う。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	オリエンテーション
2	子ども家庭福祉の歴史的変遷
3	子どもの権利擁護と子ども家庭福祉
4	子ども家庭福祉の制度と法体系
5	子ども家庭福祉の実施機関と実施者
6	少子化と子育て支援サービス
7	母子保健と児童の健全育成
8	多様なニーズへの対応
9	児童虐待・DVの防止
10	障害児への対応
11	少年非行の実態と対応
12	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進
13	地域連携とネットワーク
14	諸外国の子ども家庭福祉の動向
15	定期試験

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目		子育て支援		■講師名		平野 節子	
2 年		15 コマ（1コマ90分授業）		総時間		30 時間 講義 1 単位	
■学修概要							
保育士の仕事の流れを理解し、保護者との関係や地域との連携を意識しながら、一人一人の子どもが楽しく充実した日々を過ごすための方策や環境づくりを考える。							
■授業目的、到達目標							
保育士の仕事を理解し、保育者としての子どもの発達状況を理解し、一人一人に寄り添った対応方法を身に付けることで、信頼される保育士を目指す。							
■授業方法							
講義・演習							
■教科書（書籍名・出版社）							
『福祉教科書 保育士 完全合格テキスト2025年版 上・下』翔泳社							
■成績評価・講義上の注意							
授業中の態度、課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。							
■実務経験							
小学校教員として幼保連携に約20年携わり、乳幼児の保護者、保育者からの相談や障害児・病児について教育相談、地域子育て支援活動、親子の居場所づくりを行ってきた経験を活かして、保育士としての子どもに寄り添った対応方法を理解し、身に付け深める授業を行う。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	乳幼児保育の基礎知識の復習						
2	保育士の仕事、1日、1年間の流れ						
3	保育計画と記録、評価						
4	子どもの生活と遊びの役割						
5	遊びに関する保育者の援助（1）						
6	遊びに関する保育者の援助（2）						
7	保護者に対する保育者の援助（1）						
8	保護者に対する保育者の援助（2）						
9	環境に関する保育者の役割						
10	心地よい環境づくり（1）						
11	心地よい環境づくり（2）						
12	心地よい環境づくり（3）						
13	地域との連携						
14	子育てに活用できる機関						
15	定期試験						

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 保育実習指導Ⅱ	■講師名 近藤初江
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）
■学修概要 保育実習の振り返り 実習の日誌の書き方 責任実習の演習	総時間 30 時間 講義 1 単位
■授業目的、到達目標 保育所実習と施設実習の振り返り 責任実習の計画と演習	
■授業方法 授業と実践	
■教科書（書籍名・出版社） 「保育実習」 中央法規	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 保育園保育士 20 年 保育所園長歴 8 年	
■授業計画（講義の流れ）	
1	保育実習の振り返り
2	施設実習の振り返り
3	実習日誌の書き方
4	保育のポイントを探る
5	保育所理解
6	保育士の子ども理解
7	保育所見学
8	保育士の職務理解
9	保育計画作成 1
10	保育計画作成 2
11	責任実習演習 1
12	責任実習演習 2
13	責任実習演習 3
14	試験に向けて
15	試験

こども保育学科

■科目		子どもと言語表現		■講師名		近藤初江	
2 年		15コマ（1コマ90分授業）		総時間		30 時間	
				講義		1 単位	
■学修概要							
保育の基本の中の「ことば」 「言語表現」 絵本を通して表現を学ぶ							
■授業目的、到達目標							
子どもの言語発達 言葉の育つ環境と援助							
■授業方法							
講義 絵本の読み聞かせ 手遊びなど							
テキスト							
教科書使用							
■成績評価・講義上の注意							
授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。							
■実務経験							
保育士歴 20 年 保育園園長歴 8 年							
■授業計画（講義の流れ）							
1	保育の基本と言葉						
2	言葉の特徴と発達						
3	言葉が育つ環境						
4	言葉の不思議						
5	言葉を育てる						
6	言葉の始まりのころの保育						
7	言葉の展開と幼児理解						
8	保育者の役割と援助						
9	言葉と絵本						
10	言葉遊び						
11	手遊び						
12	紙芝居						
13	言葉獲得の課題						
14	試験に向けて						
15	試験						

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 社会的養護 I	■講師名 相澤 隆二																														
2 年 15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間 講義 2 単位																														
■学修概要 社会的養護の意義をとらえ、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本や制度、体系等について理解する。併せて社会的養護の対象や形態、関係機関や関係職種等について理解する。																															
■授業目的、到達目標 1, 子どもの人権、権利擁護を踏まえた社会的養護の基本を理解する。 2, 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 3, 社会的養護の対象や形態、関係職種等について理解する。 4, 社会的養護の現状と課題について理解する。																															
■授業方法 講義																															
■教科書（書籍名・出版社） 子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護 I / 大学図書出版																															
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。																															
■実務経験 社会福祉士・介護支援専門員・サービス管理責任者 障害児・者のサービス管理責任者や高齢者施設での相談員等を経験し、東京都内で保育園、学童保育、放課後等デイサービス、障害児・者の特定計画相談事業および横浜市内で高齢者施設、障害者施設を運営する社会福祉法人の理事長。																															
■授業計画（講義の流れ） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td>社会的擁護の意義</td></tr> <tr><td>2</td><td>社会的擁護の歴史的変遷</td></tr> <tr><td>3</td><td>家庭の役割を果たす機能と社会的養護</td></tr> <tr><td>4</td><td>児童の権利擁護</td></tr> <tr><td>5</td><td>制度と法体系</td></tr> <tr><td>6</td><td>社会的擁護の領域と実施体系</td></tr> <tr><td>7</td><td>家庭擁護と施設擁護</td></tr> <tr><td>8</td><td>社会的擁護の専門職種</td></tr> <tr><td>9</td><td>施設擁護の基本</td></tr> <tr><td>10</td><td>施設擁護における支援の実際</td></tr> <tr><td>11</td><td>施設擁護におけるソーシャルワーク</td></tr> <tr><td>12</td><td>児童福祉施設等の運営管理</td></tr> <tr><td>13</td><td>専門職としての倫理の確立</td></tr> <tr><td>14</td><td>児童虐待防止および現状と課題</td></tr> <tr><td>15</td><td>定期試験</td></tr> </table>		1	社会的擁護の意義	2	社会的擁護の歴史的変遷	3	家庭の役割を果たす機能と社会的養護	4	児童の権利擁護	5	制度と法体系	6	社会的擁護の領域と実施体系	7	家庭擁護と施設擁護	8	社会的擁護の専門職種	9	施設擁護の基本	10	施設擁護における支援の実際	11	施設擁護におけるソーシャルワーク	12	児童福祉施設等の運営管理	13	専門職としての倫理の確立	14	児童虐待防止および現状と課題	15	定期試験
1	社会的擁護の意義																														
2	社会的擁護の歴史的変遷																														
3	家庭の役割を果たす機能と社会的養護																														
4	児童の権利擁護																														
5	制度と法体系																														
6	社会的擁護の領域と実施体系																														
7	家庭擁護と施設擁護																														
8	社会的擁護の専門職種																														
9	施設擁護の基本																														
10	施設擁護における支援の実際																														
11	施設擁護におけるソーシャルワーク																														
12	児童福祉施設等の運営管理																														
13	専門職としての倫理の確立																														
14	児童虐待防止および現状と課題																														
15	定期試験																														

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 社会的養護Ⅱ	■講師名 相澤 隆二
2 年 15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間 講義 1 単位
■学修概要 子どもの理解を踏まえた社会的養護における基本的な内容を通して、施設養護及び家庭養護の実際について学び、社会的養護における計画や記録、相談援助方法や技術について理解する。また、社会的養護における虐待防止と家庭支援、子どもの権利擁護について理解する。	
■授業目的、到達目標 1、社会的養護の基本的な内容について具体的に理解する。2、施設養護及び家庭養護の実際について理解する。3、社会的養護における計画・記録・評価および相談援助の方法・技術について理解する。4、社会的養護における現状と課題を理解する。	
■授業方法 講義、演習	
■教科書（書籍名・出版社） 実践研究や事例から学ぶ 社会的養護Ⅱ / 大学図書出版	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 社会福祉士・介護支援専門員・サービス管理責任者 障害児・障害者のサービス管理責任者や高齢者施設での相談員等を経験し、保育園、学童保育、放課後等デイサービス、障害児・障害者の特定計画相談事業および高齢者施設、障害者施設を運営する社会福祉法人の理事長。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	子どもの理解を踏まえた社会的養護
2	社会的養護における専門職の倫理および責務
3	施設擁護の実施体制と実際
4	福祉型障害児施設における施設養護の内容
5	医療型障害児施設における施設養護の内容
6	施設養護の実施体系と実際
7	家庭擁護の実施体系と実際
8	個別支援計画の作成について
9	日常生活支援について
10	治療的支援と療育的支援について
11	自立支援について
12	記録の意義と実践
13	専門性に関わる知識・技能について
14	ソーシャルワークに関わる知識・技術について
15	定期試験

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目		社会福祉		■講師名		伊藤 能之	
2 年	後期	15 コマ (1コマ90分授業)	総時間	30 時間	講義	2 単位	
■学修概要							
社会福分野社の専門職の一つである保育士の専門的な知識の基礎である社会福祉学を学ぶ。							
■授業目的、到達目標							
保育士として必要な社会福祉学の知識を習得するとともに、社会生活を営む上での必要な社会保障制度（社会保険など）を理解し、活用できるようになることを目標とする。							
■授業方法							
講義							
■教科書（書籍名・出版社）							
山縣文治ほか編『よくわかる社会福祉学』ミネルヴァ書房							
■成績評価・講義上の注意							
出席日数、授業態度、試験・課題で総合的に評価する。							
■実務経験							
講師は、子育て支援センターの勤務経験を活かし、実務者の観点から講義を行う。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	オリエンテーション、社会福祉の基礎概念						
2	社会福祉をとりまく状況						
3	社会福祉を支える人たち						
4	社会福祉の仕組みと運営						
5	社会福祉の機関と施設						
6	社会保障①（公的扶助）						
7	社会保障②（社会保険）						
8	社会保障③（その他）						
9	社会福祉の援助と方法						
10	社会福祉の歴史と展開						
11	子ども家庭福祉						
12	高齢者福祉						
13	障害者福祉						
14	地域福祉						
15	まとめ、試験						

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 就職研究Ⅱ	■講師名 中川 秀太
2 年 15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間 演習 1 単位
■学修概要 子どもの主体的な表現としての音楽遊びを支える知識と方法を習得する。	
■授業目的、到達目標 さまざまな音楽遊びについて学び、保育現場で実践できる技術を身につける。	
■授業方法 講義、演習	
■教科書（書籍名・出版社） 資料配布	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の2/3以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 大学で日本語学を指導する。 日本語検定の問題作成委員を務める。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	保育所保育指針における領域「表現」のねらい
2	乳幼児期の音楽的発達とは
3	保育における歌唱活動の意義と目的
4	模擬実践
5	器楽活動について
6	打楽器の大切さ（器楽活動）
7	模擬実践
8	音楽に合わせて身体を動かす活動とは リズムとは
9	模擬実践
10	日本の伝統音楽に親しむ 保育におけるわらべ歌の意義
11	模擬実践
12	ボディーパーカッション リズム遊び
13	音楽表現活動における指導案の作成と模擬保育
14	模擬保育の実践と振り返り
15	まとめ 学期末試験

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 情報機器の操作Ⅱ	■講師名 煤村 麻里子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）
■学修概要 パソコンを用いた表作成、表計算、プレゼンテーション等、社会人として必要な Officeソフトに関する操作能力を高める。	総時間 30 時間 講義 1 単位
■授業目的、到達目標 Excelの操作技術と数式、関数、グラフ作成などの基本操作について学び Microsoft Office Specialist Excel 試験取得を目指す。	
■授業方法 講義、演習	
■教科書（書籍名・出版社） FOM出版 よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Excel2019対策テキスト&問題集	
■成績評価・講義上の注意 出席日数、授業態度、作成物で総業的に評価	
■実務経験 大学と専門学校で、情報処理・パソコン講師勤務経験を活かし、社会人として必要なパソコンスキル習得のための授業を行う。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	ガイダンス/MOS試験について/ID取得
2	Excelの基本操作 1
3	Excelの基本操作 2
4	MOS出題範囲 1 ワークシートやブックの管理
5	MOS出題範囲 1 ワークシートやブックの管理
6	MOS出題範囲 2 セルやセル範囲のデータの管理
7	MOS出題範囲 2 セルやセル範囲のデータの管理
8	MOS出題範囲 3 テーブルとテーブルのデータ管理
9	MOS出題範囲 4 数式や関数を使用した演算の実行
10	MOS出題範囲 4 数式や関数を使用した演算の実行
11	MOS出題範囲 5 グラフの管理
12	MOS出題範囲 5 グラフの管理
13	模擬試験
14	模擬試験
15	前期テスト

授業計画（シラバス）

こども保育学科			
■科目	図画工作Ⅱ	■講師名	高畠潤子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間 講義 1 単位
■学修概要 たくさん子どもたちを保育する中、子どもが注目してくれたり、楽しんでもらえるアイテムの制作を行う。 お遊戯会やお話会などだけでなく返信ごっこなどに使えるような衣装や帽子の制作 パネルシアターなどの制作			
■授業目的、到達目標 制作のなかで、子どもの目線で考えることや感じ方を学ぶ 子どもにどうすれば伝わるか、伝えられるかを考える			
■授業方法 子供用の衣装の制作 パネルシアターをグループで制作演じるまでを行う			
■教科書（書籍名・出版社） 3 5 0 0 円材料費を支払う			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 絵本の出版、パネルシアターを創作イベントの出演など			
■授業計画（講義の流れ）			
1	授業の流れと概要		
2	変身衣装を作ろう 1		
3	変身衣装を作ろう 2		
4	変身衣装を作ろう 3		
5	パネルシアターづくり（お話をつくる）		
6	パネルシアターづくり（お話をつくる）		
7	パネルシアターづくり（お話をつくる）		
8	パネルシアターづくり（登場人物、場面、物 必要になるイラストをあらいだす）		
9	パネルシアターづくり（シナリオ、キャラクター、小物 分業をして作業する）		
10	パネルシアターづくり（シナリオ、キャラクター、小物 分業をして作業する）		
11	パネルシアターづくり（シナリオ、キャラクター、小物 分業をして作業する）		
12	パネルシアターづくり（シナリオ、キャラクター、小物 分業をして作業する）		
13	パネルシアター配役決め		
14	パネルシアター練習		
15	パネルシアター本番（テスト）		

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目 保育の計画と評価	■講師名 片山 嵐太郎
2 年 15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間 講義 2 単位
■学修概要 子ども理解に基づく保育過程（計画・実践・評価・改善）の全体構造を把握し、保育実践に必要な計画及び評価について学ぶ。	
■授業目的、到達目標 保育計画の意義と重要性を理解し、PDCAサイクルに基づいた計画の立案や実践後の評価の仕方について理解する。	
■授業方法 基礎的な内容について講義をしたのち、グループワークや関連教材を通した対話を通して理解を深める。	
■教科書（書籍名・出版社） 教科書は使用せず、適宜プリント等を配布する。	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の2/3以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 大学でも授業を持つ。この経験を活かし、講義を進めていく。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	導入
2	保育における計画と目標
3	保育におけるカリキュラム
4	子ども理解とPDCAサイクル
5	保育における全体計画
6	長期的な指導計画の作成①
7	長期的な指導計画の作成②
8	短期的な指導計画の作成①
9	短期的な指導計画の作成②
10	指導計画上の注意点①
11	指導計画上の注意点②
12	保育の評価と改善①
13	保育の評価と改善②
14	保育の評価と改善③
15	全体のまとめ

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目	保育実践演習	■講師名	青田 晶子
1・2 年	30 コマ（1コマ90分授業）	総時間	60 時間 講義 2 単位
■学修概要 保育者として必要な専門知識及び技術を習得するとともに、保育士に必要な協働性や自ら学ぶ姿勢など必要なスキルについて学ぶ。			
■授業目的、到達目標 乳幼児に必要な環境について理解し、保育者として必要な倫理観や専門的な知識、技術を習得する。			
■授業方法 講義と演習			
■教科書（書籍名・出版社） 『保育・教育の方法と技術－Visual Aid ビジュアル エイド－』大学図書出版			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 講師は東京の公立幼稚園、大阪の市立保育園、市立幼保連携型認定こども園で25年勤務した実践経験と、現代求められている保育について結び付けながら講義する。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	オリエンテーション 保育者に求められるもの		
2	生活と遊び		
3	保育教育の方法の基礎理論		
4	職場を知る①		
5	クラス担任の仕事を知る①		
6	あそびの展開を支える基礎的技術		
7	子どもと生活①		
8	子どもと生活②		
9	乳児のふれあい遊び		
10	友達とのふれあい遊び		
11	描く作る ①		
12	描く作る ②		
13	食べること、元気な体（調理・看護師等の連携）		
14	安全な園生活		
15	定期テスト		
16	保育技術①		
17	保育技術②		
18	表現（模倣あそび、ごっこ遊び）		
19	表現（表現あそび・劇あそび）		
20	自然あそび①		
21	自然あそび②		
22	集団遊び①		
23	集団遊び②		
24	クラス担任の仕事を知る②		
25	園務分掌について（行事の提案）		
26	保幼小の連携について		
27	地域の人とのかかわり		
28	クラス担任の仕事を知る③（保護者会・面談）		
29	まとめ		
30	定期テスト		

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目	保育内容総論	■講師名	平野 節子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間 講義 1 単位
■学修概要 子どもの発達の特性を理解し、子どもの人権を守る保育とはどのような保育なのかを考え、適切な発達への援助ができるよう知識と方策を学ぶ。			
■授業目的、到達目標 子どもの発達段階に即した発達論や基本的概念について学び、現代社会における親子関係の課題から生じる問題を保育士としての養護・教育の観点から理解し、子どもの発達を促す保育士を目指す。			
■授業方法 講義・演習			
■教科書（書籍名・出版社） 『福祉教科書 保育士 完全合格テキスト2025年版 上・下』翔泳社			
■成績評価・講義上の注意 授業中の態度、課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。			
■実務経験 30年以上教育活動に携わり、教育相談を行ってきた実践経験から、現代社会における保育の重要性について講義する。また、教育と社会の関係について研究してきた観点から、保育士が身につけるべき発達支援のあり方について講義する。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	オリエンテーション		
2	発達を捉える視点		
3	子どもの権利		
4	保育所の現状と課題		
5	保育所保育指針		
6	家庭と家族の理解		
7	保育内容の変遷と社会的背景		
8	養護と教育の一体化		
9	小学校への接続		
10	児童福祉法		
11	保育士の専門性		
12	遊びを通じた援助		
13	子どもの特性と支援		
14	保護者への援助		
15	定期試験		

授業計画（シラバス）

こども保育学科

■科目	保幼小の連携	■講師名	平野 節子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間 講義 2 単位
■学修概要			
乳幼児の発達についての知識を基に、幼児教育と小学校教育の違いと円滑な接続について、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手がかりに学ぶ。			
■授業目的、到達目標			
子どもの成長発達の特徴を理解し、保育園、幼稚園、幼保連携型認定こども園という幼児教育施設と特徴を理解し、具体的事例を通して、接続のあり方を知る。			
■授業方法 講義・演習			
■教科書（書籍名・出版社） 『福祉教科書 保育士 完全合格テキスト2025年版 上・下』翔泳社			
■成績評価・講義上の注意 授業中の態度、課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。			
■実務経験 小学校教員として約20年教育に携わり、乳幼児の保護者、保育者からの育児相談や障害児・病児について教育相談、地域子育て支援活動を行ってきた経験を活かして、保育と教育の連続性について講義する。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	オリエンテーション		
2	子どもの発達への援助		
3	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿		
4	「健康な心と体」 幼児期から就学期		
5	「自立心」と発達過程		
6	「協同性」の学びと就学		
7	道徳性、規範意識の芽生え		
8	思考力の芽生え		
9	自然との関わり・生命尊重の連続		
10	数量や図形や文字への関心の向上		
11	豊かな感性と表現の連続性		
12	言葉による伝え方の発達		
13	幼小連携のためのスタートカリキュラム		
14	保育士同士の連携と環境づくり		
15	定期試験		